



一貫校開校3年を振り返って…学校教育目標「社会を生き抜く力の根っこを育てる」を考える

2月22日、本校の3年間の軌跡や実践の記録がつづられた「研究紀要」が完成しました。3年目は、コロナ禍で積み上げを図れないことも多々ありました。全国へ発信し、取組を問う機会もなくなりました。ですが、これまでの連携があったからこそ、コロナウイルス感染症への対応も、小中一貫してスムーズに行えたのではないかと思います。

22日に行われた児童向けの中学校入学説明会の中で、仲上先生が、「穂波東校の学校目標『社会を生きぬく力の根っこを育てる』の『社会を生き抜く力の根っこ』って何だと思いませんか？」と6年生に問いかけられました。そして、「ルールを守ることも、根っこの1つだ。だから、しっかりその力をつけてほしい。」と話されました。また、その後クラブについての説明の中で菅原先生は、「クラブ活動を通して、厳しいことにも負けたくまじさと、自分の中の可能性を伸ばし、進路を切り拓いていく力をつけてほしい」と話されました。それぞれの立場から、「社会を生き抜く力の根っこ」をとらえ、学校目標の実現に取り組んでいただいているのだと改めて思いました。私自身を振り返ると、本校に赴任した時から、既に設定されていた目標で、漠然としかとらえきれていなかったことに気づかされました。立ち上げに際し、議論した先生方も少なくなってきた今、小中一貫の学校教育目標「社会を生き抜く力の根っこ」について、もう一度共通理解をすることで、その実現に向け、それぞれの持ち場からのアプローチと全職員での実践につながるのではと感じました。

* 小学部から中学部へ：卒業を前にした6年生の取組 *

6年生の実践レポートより

「自分の将来は今の自分と繋がっている！」

総合的な学習の時間で、毎年卒業を前に、自分のこれからの進路について考える単元を設定しています。今年度は、「見つめよう 私の未来～夢実現プラン～」と題して取組を進めました。

- ①仕事について考える。…なぜ働くのか
- ②自分のなりたい職業について考える。
- ③その職業に必要なことを調べる。
- ④高校について知る…紹介DVD・パンフレット
- ⑤中学校生活について知る。

そして、最後に自分の「夢実現プラン」を完成させ、これからの自分について作文にまとめました。

それまでのただのあこがれや夢ではなく、職業としてとらえ、必要な資格や進路についてリアルに向き合い、自分がこれからすべきことを考えることができたようです。今、9年生はまさに進路選択の渦中にいます。確実に3年後向き合う6年生に、一貫校だからこそ、3年後の自分にリアルに向き合わせることもできるのではないかと思います。

中学校への「算数パスポート」に、取り組んでいます！

算数の最後の単元「算数パスポート」は、6年間の学習の総復習の単元です。

毎年ですが、6年担任だけでなく、管理職・専科総動員でサポートしつつ、小学校の算数の学習内容の定着に取り組んでいます。今年度は、学年全体を5分割にして、領域毎に学習しました。早く課題を終えた子は、進んで友達に教える姿も見られました。まだまだ、課題も残してはいますが、中学校でも、間違いをそのままにしないで間違いから学ぶ「再チャレ学習」や友達との学び合いを大切に、力をつけてほしいと思います。

活用力の育成は、小中一貫の課題です。小学校段階から、課題解決のために、課題から要素を抽出する（印をつける）・図や表に表す・関係づけるなどのツールを子どもたちに持たせていくことが必要だと感じています。